

職場の環境



配属先

■本庁①

農林水産部—農地整備課、総務課、総合農政課、農業経営課、流通戦略課
環境部—自然・鳥獣共生課
企画部—計画課、地域振興課
土木部—総合治水課

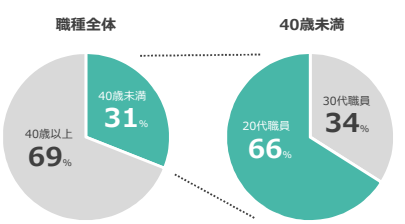
■地方機関

- ②神戸土地改良センター
- ③阪神農林振興事務所
- ④加古川流域土地改良事務所
- ⑤姫路土地改良センター
- ⑥光都土地改良センター
- ⑦豊岡土地改良センター
- ⑧朝来土地改良センター
- ⑨篠山土地改良事務所
- ⑩洲本土地改良事務所

本人の希望や経験等を考慮し、本庁または地方機関に配属されます。異動のサイクルは3年程度です。また、年に1回、希望する職務分野やポストを申告する機会を設けています。

職員データ（R4年1月実績/総合土木職（農業土木分野）のみ）

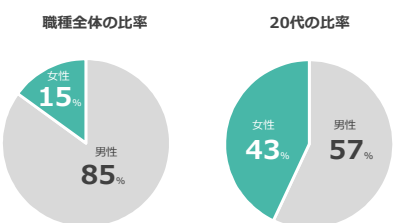
■職員の年代比率



■職員の出身県及び出身大学の一例（兵庫県以外）

出身県	出身大学
関東	神奈川
関西	大阪/京都/奈良/滋賀
中国・四国	岡山/高知
九州	福岡/佐賀
兵庫県以外	兵庫県以外
	北海道大学/山形大学/日本大学 三重大学/京都大学/岐阜大学 他
	兵庫県以西
	岡山大学/鳥取大学/高知大学 香川大学/宮崎大学/鹿児島大学 他

■職員の男女比率



■職員の住居エリア

神戸・阪神等臨海エリアに住む職員は **64%**

お問い合わせ先

兵庫県 農林水産部 農地整備課
〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL. **078-362-3429**
TEL. **078-341-2101**



「イノベーション」って
役所にはないと思っていた
未来につながる農業への挑戦

考える→行動するの繰り返し
想像以上にアグレッシブ



挑戦しがいのある農村整備。職員の経験と成長が「スマート農業」の未来を切り拓く。

ほ場（農産物を育てる場所）や、ため池（ほ場をかんがいするための施設）の整備を通じて農村地域資源の確保や環境保全に取り組んでいます。
さらにICT等の先端技術を活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業「スマート農業」の導入を支援します。

3 MISSION

- 農産物の生産性を高める基盤づくりと環境条件に適したスマート農業の導入を促進する。
- 農業水利施設の防災対策を徹底し、農村地域の人や財産を守る。
- 農村エリアの機能（環境学習の場/景観など）を活用し、非農家も含めた地域の維持と発展につなげる。

3年目の職員インタビューは
WEBサイトに掲載



想定外を想定して進めていく。
農業の基盤づくりが大きなやりがいになる。

想定外を想定して進めていく。
農業の基盤づくりが大きなやりがいになる。

ため池の整備担当として農家や周辺住民との協議、工事中は監督員、また計画立案も行っていきます。事業の計画から実施まで一貫して携われるのは県庁職員の特徴でもあり、醍醐味ですね。雨風などの自然気象に影響される工事のプロジェクトは、計画通りに進まないこともあります。イレギュラーの事態を想定し、柔軟な対応をしていく中に面白さがあります。大変なことも多いですが、地域の方が安心して農業できる基盤づくりに貢献できると思うと大きなやりがいを感じながら取り組めます。

入庁9年目
阪神農林振興事務所
職員
木村 銅輔 (Kimura Kosuke)

16年目の職員インタビューは
WEBサイトに掲載



VS自然に、100%の正確なし。
「考える」「行動する」試行錯誤の繰り返し。

地元農家の方々から直接想いを聞き、進める。
仕事に人が介在する以上「対面」は大切です。

東播磨地域のため池改修工事を担当しています。工事資料の作成や関係者との協議など少しずつ任されるが増えてきました。現在は出先の事務所で行っているため地元の方々とお話しする機会がたくさんあります。顔を直接見られるので思いや考えを汲み取りやすく、誰のための事業なのかということが伝えやすい、加えて直にやりがいを感じられる楽しさもあります。周りの方々から快くサポートして頂けるので、自分の成長を実感しながら楽しく仕事ができています。

入庁1年目
加古川流域土地改良事務所
職員
喜田 直也 (Kida Naoya)

こんな方に会いたい

- [1] 人と話すことが好き！人と関わりながら仕事がしたい！
- [2] 高い向上心を持ち、何事にも好奇心を持って取り組める！
- [3] 豊かな発想力と提案力に自信がある！

これまでほ場整備した面積

R3年3月実績

約 **44,090** ha (1ha=1万㎡)

阪神甲子園球場（総面積：約38,500㎡）の約11,451箇所

兵庫県のため池数

R3年5月時点

約 **22,107** 箇所

(全国の約14%を占めており日本一)

※兵庫県では農業用水の半分近くを「ため池」が担っています。(全国平均11%)



子どもの成長をパワーに変えて、
スマート農業の実現に全力投球。

小中学生2人の子育てをしている主婦です。兵庫県はコロナ禍の前から在宅勤務制度が整備され、育児・介護と仕事が両立できる環境です。今の仕事は兵庫県の農地整備の方向性や実施内容に関する計画立案。地域に根ざした農業経営を進められるよう農業者と意見交換をし、実施に向けて調整を図っています。現在、課が注力しているのはICTを活用した省力化や高品質生産を可能にするスマート農業の実現です。必要な農地の大区画化やバイブライニングの普及啓発にも取り組んでいます。

入庁23年目 (育休取得2回(各1年半))
農政環境部農地整備課
主幹
近木 雅子 (Chikaki Masako)

STAGE 1 1年目

職名	職員
主な業務	地方機関で農地等の整備工事の設計、監督
研修	初任者研修 工事の設計・積算、施工管理技術
行政職員共通研修	新人職員研修

STAGE 2 2~3年目

職名	職員
主な業務	地方機関で農地等の整備工事の設計、監督
研修	初任者研修 工事の設計・積算、施工管理技術
行政職員共通研修	若手職員研修

STAGE 3 4年目~

職名	主任
主な業務	本庁で事業計画の調整、審査
研修	専門技術研修（農林水産省の研修施設等での分野別の研修）農業農村工学会での技術研究発表会
行政職員共通研修	中堅職員研修

STAGE 4 30代前半~

職名	主任
主な業務	本庁で事業計画の調整、審査
研修	専門技術研修（農林水産省の研修施設等での分野別の研修）農業農村工学会での技術研究発表会
行政職員共通研修	中堅職員研修

STAGE 5 30代後半~

職名	主査
主な業務	地方機関で事業計画の立案・実施
研修	専門技術研修（農林水産省の研修施設等での分野別の研修）農業農村工学会での技術研究発表会
行政職員共通研修	主査研修

STAGE 6 40代~

職名	主幹
主な業務	本庁又は地方機関で事業実施のマネジメント
研修	専門技術研修（農林水産省の研修施設等での分野別の研修）農業農村工学会での技術研究発表会
行政職員共通研修	監督職研修